

平成31年度(2019年度)

社会福祉法人 和光福祉会事業計画

1) 学童保育 富岡児童クラブの設置運営

名称	富岡児童クラブ
場所	芥北町富岡 富岡保育園内（富岡小学校裏）
指導者	野田明子・赤尾陽子・古瀬朱梨
対象児童	小学校1年～3年生 特に必要がある場合には、4年生以上も可

1 富岡児童クラブの内容

- ① 就労などで家に保護者がいない家庭の低学年児童の放課後を、児童が心豊かに安定して過ごせるような場と保護者に代わる人の提供。
- ② 子ども達の縦割り関係の構築。
- ③ 規則正しい学習習慣の形成。学校から帰ってきたらまず宿題をする。
宿題がなかったら、学童クラブが用意したプリントをする。
しかし子どもの教育の一番の責任者は、その保護者であり、子どもの学力を認識して頂くために、宿題のチェックは、必ず家庭でしていただく。
- ④ 手作りのおやつにより、安全な食品を提供すると共に、買い食いや市販のどぎつい味のお菓子から、なるべく子どもを遠ざける。
- ⑤ 自然観察や戸外で体を動かす様々な遊びを提供し、とにかくテレビゲーム等で引きこもりがちな生活からの脱却。テレビゲーム以外に友達とのもっと楽しい遊びがあることを子ども達に伝えていく。
- ⑥ マリンバ演奏の練習を通して、楽しい音楽体験と友達と協調することの心地よさを味合わせる。
- ⑦ 様々な具体的な場面を通して、自分で考えることのできる子どもの育成。

2 児童クラブの生活

- ① 開設日及び開設時間年間364日開設する。
 - ・ 平常
月曜日～金曜日
午後12時30分～午後7時00分まで
 - ・ 土曜日及びホリデー 午前8時から午後5時まで
 - ・ 春・夏・冬休み
月曜日～日曜日午前8時～午後5時まで
- ② デイリープログラム

P.M. 1:00～2:30	帰園 宿題 音読・プリント
P.M. 3:30	物語の読み聞かせ・合唱
P.M. 3:45	おやつ・お掃除
P.M. 4:30	遊び（伝承遊び・ボール遊び等）

P M . 7 : 0 0

帰宅

(園バス利用者は、バスで送る)

3 月 謝

月額5,000円(講師謝礼・教材代・おやつ代)・保険料1,000円

おやつは、保育園と同じ献立の手作りのものを出す。

長期休暇の場合は、1日300円(給食費)の追加。

2) 富岡保育園の設置運営

名 称	富岡保育園
種 別	保育所
住 所	熊本県天草郡苓北町富岡2, 476-1
定 員	80名

2019年度富岡保育園事業計画書

I. 保育の基本

家庭や地域社会と連携を密にしながら家庭養育の補完を行い、子どもが健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにし、健全な心身の発達を図るようにする。

II. 保育の目標

子どもが現在を最もよく生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培うことを目標とし次の諸事項を目指して行うものとする。

- 1 養護のゆきとどいたくつろいだ雰囲気の中で、子どもの様々な欲求を適切に満たし生命の保持及び情緒の安定を図ること。
- 2 健康安全など生活に必要な基本的な習慣を養い、心身の健康の基礎を培うこと。
- 3 人に対する愛情と信頼感及び人権を大切にする心を育てると共に、自主、協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培うこと。
- 4 自然や社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の基礎を培うこと。
- 5 生活する中で、言葉への興味や関心を育て、喜んで話たり、聞いたりする態度や豊かな言葉を養うこと。
- 6 様々な体験を通じて、豊かな感性を育て、創造性の芽生えを培うこと。

III. 保育の実践

それぞれの子どもの発達段階や発達課題に留意しながら、保育士の愛情と知性と技術とが個々の子どもに充分向けられるよう配慮し、別紙「全体的な計画」により実践するよう努

める。なお、実践にあたっては、次のことについて留意する。

- 1 子どもの家庭や地域社会における生活の実態を把握すると共に、子どもを温かく受け容れ、適切な保護、世話をし、子どもが安定感と信頼感を持って活動できるようにすること。
- 2 子どもの生活リズムを大切に、自己活動を重視しながら、生活の流れを安定し、かつ、調和のとれたものにすること。特に、入所時の保育にあたっては、できるだけ個別対応を行うことにより、子どもが安定感を得られるように努めると共に既入所の子どもにも動揺等ないように配慮すること。
- 3 保育内容のすべての活動領域において、子どもが自発的、意欲的にかかわれるような環境の構成と、そこにおける子どもの主体的な活動を大切に、乳幼児期にふさわしい体験が得られるように遊びを通して総合的に保育を行うこと。
- 4 個々の子どもの活動を大切にしながら、子ども相互の集団活動を効果あるように援助すること。
- 5 食育の推進:今年も保育園の菜園をフル活用し、野菜くずを利用した元気野菜作りに取りくむ。JA茶北さんや保護者の方の支援を受けながら野菜の栽培を園児と共におこない、栽培から収穫までを経験することで、園児が野菜との楽しい出会いができるようにし、またクッキングを頻繁に保育に取り入れ、料理の楽しさを十分子どもに体験させ、よって将来の食生活を豊かに展開できる力を養う。

IV. 行事予定

最終ページの「2019年度年間行事計画」の通り実施する。

V. 保健・安全・給食

1 保健について

登園時において、子どもの健康状態を観察するとともに、保護者から子どもの状態について報告を受けるようにし、保育中に異常が発見された場合には、保護者に連絡すると共に医師に相談する等、臨機に適切な処置を講ずるよう努める。

また、定期的に身体測定を行うとともに、嘱託医による内科及び歯科の健康診断を実施し、健康や発達状態の把握等に努める。

衛生管理マニュアルをもとに消毒の徹底及び手洗いの励行に努めたせいか、24年度以来のこの5年間は感染症の流行は見られていなかったが、29年度に続いて30年度もインフルエンザの流行が見られたので、今年度は感染症の流行が起きないように留意したい。

2 給食について

給食は、子どもの健康、発育、発達に欠くことが出来ない極めて重要なものでありその実施に当たっては、乳幼児の必要な栄養量の確保、嗜好を生かした調理を行うと共に将来のよい食習慣の基礎（薄味・野菜を食べる・規則正しい食事・栄養バランスの取れた

食事)を養うようにし、また、食文化を子ども達に伝えるべく、行事食や季節にも配慮し、旬の野菜を献立に取り入れるよう心がける。

今年度もまた、おかずを主菜・副菜・(時に副々菜)・汁物とし、午前午後のおやつも手作りで提供する。また初期・中期・後期の離乳食をバリエーション豊かに展開し、幼児食への移行食にも、配慮したい。

3 事故防止について

事故防止は保育の大きな目標であることを認識し、保育中における子どもへの安全配慮その他事故防止について常に留意する。

また、機会あるごとに交通ルールの遵守指導、避難訓練等火災予防の実施等をすると共に、保護者に対しても子どもの事故防止について認識を深めるための協力を求める。

これまで大きな事故もなく過ごすことができたが、2019年度も引き続き事故が起こらぬようにしたい。

4 保育環境の整備について

園児数の減少により予算がかなり落ち込み、簡単に新しい遊具を入れることはできにくくなっている。なるべく今あるものを大切にすることに心がけたい。

そのため、月4回の園独自による安全点検を励行し、より安全な環境作りに努めたい。赤尾周策氏に遊具の修復をお願いするようになって、今年で6年目である。船舶用のペンキを使い、徹底した錆取り、6回までのペンキの塗りこみなど、今年度もお願いしたいと考えている。

VI 地域活動事業の実施について

地域に開かれた社会資源としての保育園を地域住民等のために活用する一環として、31年度も、富岡高齢者大学の会員からふれあい参加希望者を募り、その方たちと年5回のふれあい会を実施することになっている。

また今年度も花祭りや運動会や発表会も当児童クラブの小学生も入れて行い、就学前から小学校低学年までを視野に入れた教育を実施する。特に21年度からはじまった、運動会の大会運営役員を学童クラブに任せることは、今年度も継続し、学童の力を保育園に入れるようにしていきたい。

伝承を初めて29年目に当たる富岡の伝承芸能である「シャギリ」(平成2年度より始めた)は、保存会の稲尾利男先生の指導を受けて、今年も受け継いでゆく。

ボランティア精神を子どもの中にどう育むかを、考えなければいけないと感じている。困っている人のために働く楽しさを感じられる子どもの育成をどうするか、今年度もこのことを課題としたい。

VII 育児講演会について

今の園児の状態を見ると、家庭教育力の不足を切に感じる人が多いが、保護者に気づいていただくことは、至難の技である。そのことに鑑み、今年も、親参加体験型の研修会を開くことに努力したい。3歳未満児対象のパパママクッキング教室、3以上児対象のクッキング教室を年1回ずつ、5歳児は、それにプラスして従来からある親子クッキングを考えてい

る。

また県の教育委員会のお力をお借りして、親の学びプログラムを年2回開催することを計画している。クッキング教室にしる親の学びプログラムにしる、講師の話を聞くといった子育て講座ではなく、自分達同士で考え合う時間を作ることをメインにしていきたい。

年1回の保育面談で問題を把握し、それをクッキング教室や親の学びプログラムにいかせたらと最高である。

また苓北中学校校区の幼少中連携のテーマとしてのノーテレビデーの推進を2019年度も、していきたい。

読んでもらえる園便り作りにも、努力したい。

Ⅷ 職員研修について

これからの保育園運営には、保育の内容の向上が不可欠との認識に立ち、職員の資質向上を図るため、保育団体に依る研修会はもちろんのこと、園内研修会を更に充実させ全職員を挙げて、研修に取り組んでいく。特に中堅は全国レベルの研修会にも出してあげたい。

またこれまでは、研修会に出しても、復命してもらった時間が取れなかったもので、その時間を確保し、ひとりの研修を、みんなの研修に広げる努力をしていく。

Ⅸ 第三者評価

中身の向上が何よりも大切な時代という認識に鑑み、第三者評価を受ける準備にかかっていくつもりではあったが、これを受けてのメリットがまだ見えず、今年も見送りたい。

X 職員処遇の改善

2019年度の一歩の改善目標は、今年度も職員処遇である。0歳児が2019年度は増加が見込まれるので、当初予算では難しいが、年度末までには4等級アップのベースアップの実施を目指したい。処遇改善加算Ⅱの金額も鑑みながら、人件費積立金の取り崩しを最小に抑えながらもこの目標を達成しようと考えている。但し2020年度から始まる苦境を耐える為に人件費積立金は大事にしたい。

2019 年度行事計画

自 2019 年 4 月 1 日 至 2020 年 3 月 3 1 日

2019 年

- ☆ 4月 6日(土) 平成30年度入園・進級式・保護者の会総会
- ☆ 4月13日(土) 親子歓迎遠足 ビジターセンター
- 4月16日(木) 苓北町戦没者追悼式 午前10時 年長児
- 5月12日(日) 花祭り
- 5月25日(土) 3歳未満児対象のパパママクッキング
- 6月29日(土) 発達障害についての職員研修会

7月 6日(土) 親の学びプログラム

7月12日・13日(金・土) 年長サマーキャンプ

☆ 8月 3日(土) 夏祭り

☆ 9月28日(土) ふれあい運動会

☆ 11月 1日(金) 交通安全タッチ運動

☆ 11月 8日(金) 富岡地区文化祭(?)

☆ 12月 7日(土) 親の学びプログラム・保育参観・給食試食会

☆ 12月14日(土) 富岡高齢者大学との交流会(防火もちつき大会)

☆ 12月30日～1月3日 年末年始休暇

劇団による観劇会 秋以降に計画 うさぎ組から学童まで

2020年

☆ 2月 8日(土) 富岡高齢者大学との合同のほほえみ発表会

☆ 3月 7日(土) 年長児親子クッキング

3月初旬頃 年長児お別れ遠足(徒歩で火電公園まで)

3月22日(日) 卒園式

その他

① 個人面談(5月)

② 富岡高齢者大学ふれあい交流会 年5回

(5月25日お見知り会 7月6日七夕会 9月運動会 12月餅つき 2月発表会)

③ 郷土芸能保存会による「富岡保育園シャギリ」指導 毎週水曜日午前8:30～9:00

④ りんせんスイミングスクール 毎週火曜日 年長児 毎週金曜日 年中児

⑤ 小関康之先生ご夫妻による小児発達援助法の研修会と実践 年2回(4月・9月)

⑥ 沖吉けい子先生童謡教室 毎月第3木曜日 年少・年中・年長

⑦ 清水直子先生歌唱指導 月1回 年少・年中・年長

⑧ 渡辺まどか先生リトミック・合奏指導 月2回 1歳児から

⑨ 岡田聖史先生運動教室 毎月第3水曜日 年12回 年少・年中・年長